

公益社団法人 日本金属学会
2020年度(令和2年度)事業計画書
2020年3月1日から2021年2月28日まで

I. 事業の計画

1. 基本方針

- ①2020年度は、公益社団法人としての8年目の事業年度であり、引き続きセルフガバナンスに基づいて、公益目的事業を公正かつ適切に推進する。
- ②日本金属学会ビジョンおよび10年後の姿の実現に向けた諸施策を推進する。
- ③刊行事業については、機関誌3誌の刊行を推進する。まてりあは、昨年立てた新企画を盛り込んだ編集計画を実行する。具体的には、入門講座や講義ノート等の学術及び技術並びに情報の記事を充実させる。さらに、金属及び関連材料に関する情報が知りたいときに必ず手に取る情報誌であることを実現させるために、誌面や記事構成の更新等を推進する。具体的な対応策として、掲載記事構成の定型化を行い、これに簡潔な記事(研究室紹介、はばたく等)を散りばめていく。さらに、編集委員の執筆記事を加えて、ページ数を増加させる。日本金属学会誌は、日本語で書かれた最新知見の発信や高度な専門性のある提案・意見交流・学理追求の場として維持向上を図るために、積極的な投稿勧誘等及びレビューやオーバービューの掲載を推進する。Materials Transactionsは、日本の代表的な材料系英文論文誌でありつづけるよう、より一層高度化するとともに、インパクトファクターの向上を目指し、ReviewやOverviewの掲載や査読の厳格化等によって掲載論文の質を向上させる。さらに、編集方針や投稿・査読プロセスを共同刊行学協会で統一するための編集の一本化を推進する。学術図書類は、既刊コンテンツのデジタル化及び理数探求科目履修支援のためのコンテンツ制作を推進する。
- ④講演会・講習会事業については、最新の研究や技術を発信し、大学・企業・研究所を越えた多様かつ多くの研究者や技術者が集い交流する魅力ある講演大会を目指して、魅力ある公募ならびに企画シンポジウムの開催や他学協会との連携企画の拡充等の施策を推進する。また、講演大会参加者の利便性を向上させるために、講演概要集のWeb化を推進する。さらに、基礎から最新の研究や技術までを学べるセミナー・シンポジウムの開催や次世代を担う人材の教育と育成に貢献するとともに、高校生・高専生が材料の魅力を理解するための機会を作る。
- ⑤調査・研究事業については、我が国の材料科学を先導していくことを目指し、再編した分科による活動を推進する。また、若手研究者の育成を目的として、若手研究グループへの研究活動助成を行い、新たに若手研究者への研究助成事業を開始する。さらに、金属及び関連材料に興味を持つ若い世代を育てることを目指し、学校教育の支援や青少年向けイベントの開催、若手交流等の人材育成に関する事業を拡充する。国際学术交流は、従来から推進しているTMSおよびKIMとの交流等の推進に加えて、講演大会における国際セッションの開催を検討する。男女ともに学会で活躍できる環境作りのために男女共同参画事業を行う。
- ⑥表彰・奨励事業については、昨年度見直した各種賞の着実な実施を推進する。
- ⑦庶務については、引き続き法令等および本会の定めにも則り、公正かつ適切に行う。また、学会の活動を広く世間に周知するために、広報活動を推進する。
- ⑧会計については、引き続き最新の公益法人会計基準および公益認定等ガイドライン等に則り、公正かつ適切に行う。

2. 学術誌及び学術図書類の刊行(定款第5条第1号)

(1) 日本金属学会会報「まてりあ」

①発行

発行年月日	巻	号	発行部数	掲載頁数
2020年 3月1日	第59巻	3号	5400部	50頁
2020年 4月1日	第59巻	4号	5400部	50頁
2020年 5月1日	第59巻	5号	5400部	50頁
2020年 6月1日	第59巻	6号	5400部	50頁
2020年 7月1日	第59巻	7号	5400部	50頁
2020年 8月1日	第59巻	8号	5400部	50頁
2020年 9月1日	第59巻	9号	5400部	50頁
2020年10月1日	第59巻	10号	5400部	50頁
2020年11月1日	第59巻	11号	5400部	50頁
2020年12月1日	第59巻	12号	5400部	50頁
2021年 1月1日	第60巻	1号	5400部	50頁
2021年 2月1日	第60巻	2号	5400部	50頁

- ・電子ジャーナルを毎号刊行する。

②巻頭記事(サイエンスライター記事)

- ・第59巻 6号、11号 第60巻 3号

③特集等

- ・第59巻 3号 特集「材料組織形成における計算材料科学の最前線」 5編程度
- ・第59巻 7号 特集「金属学的アプローチによる触媒材料設計」 5編程度
- ・第59巻 9号 特集「素材プロセス分野の産学連携による研究開発と人材育成」 5編程度
- ・第59巻 11号 特集 第7分野担当 5編程度
- ・第60巻 1号 特集 第8分野担当 5編程度
- ・第60巻 第1、2号 新技術・新製品特集 8編程度

④特記事項

- ・まてりあを魅力ある会報とするための、思い出の教科書この1冊、科学館めぐり、あの頃のまてりあ、よくわかる・ピンポイント講座、実学講座、webニュース等の新企画の掲載を開始する。
- ・年間掲載スケジュールを作成して計画的な編集を行うとともに、誌面や記事構成の更新を推進する。
- ・掲載後1年以後の電子ジャーナルをID、PWによる閲覧とする。

(2) 日本金属学会誌

①発行

発行年月日	巻	号	発行部数	掲載頁数
2020年 3月1日	第84巻	3号	290部	50頁
2020年 4月1日	第84巻	4号	290部	40頁
2020年 5月1日	第84巻	5号	290部	40頁
2020年 6月1日	第84巻	6号	290部	40頁
2020年 7月1日	第84巻	7号	290部	40頁
2020年 8月1日	第84巻	8号	290部	50頁
2020年 9月1日	第84巻	9号	290部	50頁
2020年10月1日	第84巻	10号	290部	50頁
2020年11月1日	第84巻	11号	290部	50頁
2020年12月1日	第84巻	12号	290部	40頁
2021年 1月1日	第85巻	1号	290部	40頁
2021年 2月1日	第85巻	2号	290部	40頁

- ・電子ジャーナルを毎号発行する。

②特集

- ・第84巻3号 特集「固体中の水素と材料特性 IV」 5編程度
- ・第84巻4、5号 特集「2019年秋期大会講演精選論文」 5編程度
- ・第84巻10号 特集「発展を続ける局所力学測定とマクロ変形機構解析への応用」 5編程度
- ・第84巻 10、11号 特集「2020年春期大会講演精選論文」 5編程度

③特記事項

- ・オーバービュー、レビューの投稿勧誘を継続する。
- ・特集紹介論文のカテゴリー「最新の研究動向」の論文を掲載し、引用を促進する。
- ・投稿・掲載料の無料化を継続し、論文の投稿勧誘を継続する。
- ・財政改善のため、電子ジャーナルの非会員の購読料の有料化を検討する。

(3) Materials Transactions

①発行

発行年月日	巻 号	発行部数	掲載頁数
2020年 3月1日	Vol. 61 No. 3	190部	180頁
2020年 4月1日	Vol. 61 No. 4	190部	180頁
2020年 5月1日	Vol. 61 No. 5	190部	180頁
2020年 6月1日	Vol. 61 No. 6	190部	160頁
2020年 7月1日	Vol. 61 No. 7	190部	280頁
2020年 8月1日	Vol. 61 No. 8	190部	160頁
2020年 9月1日	Vol. 61 No. 9	190部	160頁
2020年10月1日	Vol. 61 No. 10	190部	180頁
2020年11月1日	Vol. 61 No. 11	190部	180頁
2020年12月1日	Vol. 61 No. 12	190部	160頁
2021年 1月1日	Vol. 62 No. 1	190部	160頁
2021年 2月1日	Vol. 62 No. 2	190部	160頁

- ・電子ジャーナルを毎号発行する。

②特集

- ・Vol. 61 No. 3 特集「Materials Science on Mille-Feuille Structure」 9編程度
- ・Vol. 61 No. 4 特集「Materials Science on High-Entropy Alloys」 7編程度
- ・Vol. 61 No. 4、5 特集「Selected Papers from JIM Fall Meeting 2019」 8編程度
- ・Vol. 61 No. 7 特集「Nanostructured Functional Materials and Their Applications III」 35編程度
- ・Vol. 61 No. 10、11 特集「Selected Papers from JIM Spring Meeting 2020」 8編程度

③特記事項

- ・掲載半年を経過した電子ジャーナルの個人研究目的に限定したフリーアクセスを継続する。
- ・インパクトファクター向上を目指した施策を推進する。
- ・特集企画提案を積極的に勧誘し、実施する。
- ・Review、Overviewの投稿勧誘を継続する。
- ・特集紹介論文のカテゴリー「Current Trends in Research」の論文を掲載し、引用を促進する。
- ・著者選択フリーダウンロードサービス（投稿・掲載費用に追加することにより、公開後即フリーアクセスとするサービス）及び引用の見込まれる論文のフリーダウンロードを継続する。
- ・J-stageへのお勧め論文掲載、フリーダウンロード可能となった論文リストのメール発信や各号公開のメール配信、高被引用論文の公開及びメール配信を継続する。

- ・すべての論文のGraphical Abstractを掲載することを継続する。
- ・Materials Transactions共同刊行編集委員会の開催頻度を増やし、編集方針や投稿・査読プロセスを共同刊行学協会ですべて統一するための編集の一本化を推進する。(2020年4月、8月、12月、東京)

(4) 学術図書類

- ①既刊図書の増刷
 - ・1冊 1、000部
- ②理数探求用教材の制作

3. 学術講演会及び学術講習会の開催(定款第5条第2号)

(1) 講演大会

- ①講演大会委員会：2回(2020年3月、2020年9月)
 - a. 春秋講演大会の業務執行の協議を行なう。
- ②講演大会企画委員会：2回(2020年7月、2021年1月)
 - a. 講演大会に関する企画および運営の協議を行う。
 - b. 春秋講演大会のプログラム編成を行う。
 - c. 講演大会活性化施策を推進する。
- ③春期(第166回)大会
 - ・2020年3月17日～19日、東京工業大学大岡山キャンパス(目黒区)
 - a. 大会参加者数：1、400人(予定)
 - b. 講演発表件数：800件
 - c. 講演種別：一般講演、公募シンポジウム、企画シンポジウム、ポスターセッション、日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション、受賞記念講演、TMS Young Leader講演
 - d. 男女共同参画ランチョンミーティング
 - e. 金属組織写真賞作品展示
 - f. 付設展示会、ランチョンセミナー
 - g. 第6回企業説明会、2020年3月19日、参加企業35社、参加学生200名予定
 - h. 講演概要集(ダウンロード)、2020年3月3日発行予定
- ④秋期(第167回)大会
 - ・2020年9月16日～18日、富山大学五福キャンパス(富山市)
 - a. 大会参加者数：1、500人(予定)
 - b. 講演発表件数：1000件(予定)
 - c. 講演種別：一般講演、公募シンポジウム、企画シンポジウム、ポスターセッション、日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション、受賞記念講演
 - d. 第18回World Materials Day Award展示
 - e. 付設展示会、ランチョンセミナー
 - f. 講演概要集(ダウンロード)、2020年9月2日発行予定
- ⑤特記事項
 - a. 講演大会活性化のための施策を推進する。

(2) セミナーおよびシンポジウム

- ①セミナー・シンポジウム委員会：4回(2020年3月、7月、9月、2021年1月)
 - ・講習会、セミナーおよびシンポジウムを企画・推進する。
- ②セミナー(1件)
 - 1)セミナー(特別講座)(1件)
 - ・テーマ：拡散
 - ・開催時期：未定、開催場所：未定

- ・開催概要：未定、 有料参加予定：未定

③シンポジウム（2件）

1) ミルフィーユ構造の材料科学：最新の研究動向（仮）

- ・開催時期：8月下旬～10月中旬、開催場所：東京（詳細未定）
- ・開催概要：LPSO相を含むMg合金で発現する「キンク強化」最新の研究動向を紹介し、今後の研究展開を議論する。有料参加予定：100名程度

2) 電気化学インピーダンス測定・解析の基礎と応用；電池反応から腐食まで

- ・開催時期：11月頃、開催場所：江戸東京博物館会議室（仮）
- ・開催概要：電気化学インピーダンス法の基礎から適用事例を含んだ応用までを包括的に学ぶ。有料参加予定：50名程度

(3) 国内学協会共催講演会

- ・国内他学協会からの依頼により講演会を共催する。

(4) 国際会議および国際シンポジウム

- ・主催はない。

(5) 支部講演会および講習会（他学協会等との共催を含む）

①北海道支部

- ・合同サマーセッション・特別講演会（日本鉄鋼協会と合同開催）
 - 1回：2020年7月、札幌市教育文化会館（札幌市）、発表件数50件、参加予定80名
- ・冬季講演大会・特別講演会（日本鉄鋼協会と合同開催）
 - 1回：2021年1月、室蘭工業大学（室蘭市）、発表件数50件、参加予定100名
- ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）
 - 1回：2021年1月、室蘭工業大学（室蘭市）、講演1件、参加予定100名
- ・支部学術講演会
 - 3回：2020年5月、北海道大学（札幌市）、講演1件、参加予定40名
 - 2020年8月、室蘭工業大学（室蘭市）、講演1件、参加予定40名
 - 2020年12月、北海道大学（札幌市）、講演1件、参加予定40名

②東北支部

- ・支部講演会
 - 2回：2020年11月、場所未定、講演2件、参加予定40名
 - 2020年12月、場所未定、講演2件、参加予定60名
- ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）
 - 1回：2020年7月、東北大学(仙台市)、講演1件、参加予定100名
- ・地区特別講演会
 - 15回程度：開催時期・場所・講演数・参加予定者数未定
- ・講習会（子供科学キャンパス）
 - 3回：2020年7月、夏休み子ども科学キャンパス、東北大学(仙台市)、参加予定200名
 - 2020年7月、学都仙台・宮城サイエンスデイ、東北大学(仙台市)、参加予定10,000名
 - 2020年10月、秋休み子ども科学キャンパス、東北大学(仙台市)、参加予定200名

③関東支部

- ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）
 - 1回：2020年12月、場所未定（東京）、講演1件、参加予定15名
- ・講習会
 - 2回：2020年9月、場所未定（東京）、テーマ未定、参加予定50名
 - 2020年12月、場所未定（東京）、講義及び実習、参加予定10名

④東海支部

- ・支部講演大会
 - 1回：2020年10月、学生による材料フォーラム、開催場所未定、講演数100件、参加予定

130名

- ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催。湯川記念講演会との合同開催）
1回：2020年10月、場所未定（名古屋市）、講演2～4件、参加予定130名
- ・特別講演会
2回：2020年3月、場所未定、講演1件、参加40名予定
2020年10月（若手研究者による材料フォーラムと共同開催）、場所未定（名古屋市）、講演1件、参加予定130名
- ・湯川記念講演会（日本鉄鋼協会と共催。本多光太郎記念講演会との合同開催）
1回：2020年11月、場所未定（名古屋市）、講演2～4件、参加予定130名
- ・技術交流フォーラム（学術討論会との共同開催）
1回：2021年1月、場所未定、講演数2～4件、参加80名予定
- ・談話会
2回：2020年9月、金属材料談話会、場所未定、参加予定40名
開催時期未定、材料プロセッシング談話会、場所未定、参加予定40名
- ・支部学術討論会（技術交流フォーラムとの共同開催）
1回：2021年1月、場所未定、講演数2～件、参加予定80名

⑤北陸信越支部

- ・支部連合講演会（日本鉄鋼協会と合同開催）
1回：2020年12月5日、富山大学（富山市）、講演150件、参加予定200名
- ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）
1回：2020年12月5日、富山大学（富山市）、参加予定200名
- ・地区特別講演会（日本鉄鋼協会と共催）
4回：2020年7月、富山第一ホテル（富山市）、講演2件、参加予定70名
2020年6月、金沢大学（金沢市）、講演1件、参加予定50名
2020年9月、新潟大学（新潟市）、講演1件、参加予定50名
2021年2月、金沢工業大学、講演1件、参加予定50名
- ・講習会
2回：2020年10月、富山大学（富山市）、参加予定50名
2021年2月、山大学（富山市）、参加予定50名

⑥関西支部

- ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）
1回：2020年9月、（一財）大阪科学技術センター（大阪市）、講演1件、参加予定30～40名
- ・湯川記念講演会（日本鉄鋼協会と共催）
2回：2020年4月、（一財）大阪科学技術センター（大阪市）、講演1件、参加予定30～40名
2021年1月、日本製鉄（株）、講演1件、参加予定30～40名
- ・材料セミナー
3回：2020年10～12月、（一財）大阪科学技術センター（大阪市）、「技術者のための鉄鋼材料入門」、参加予定30名
2020年10～12月、大阪府立大学（堺市）、「透過型電子顕微鏡（TEM）による微細組織解析の基礎と応用」、参加予定12名
2020年10～12月（一財）大阪科学技術センター（大阪市）、「材料系のための第一原理マテリアルデザイン入門」、参加予定12名

⑦中国四国支部

- ・支部講演大会（日本鉄鋼協会と共催）
1回：春／夏期大会 2020年8月、岡山大学（岡山市）、発表件数70件、参加予定100名
- ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）
2回：2020年3月、場所未定（岡山市）、講演1件、参加予定50名
2020年8月、岡山大学（岡山市）、講演1件、参加予定70名

⑧九州支部

- ・春季講演会（日本鉄鋼協会と合同開催）
1回：2020年3月、九州工業大学(北九州市)、発表件数4件、参加予定50名
- ・秋季講演会（日本鉄鋼協会と合同開催）
1回：2020年10月、長崎大学(長崎市)、発表件数4件程度、参加予定40名
- ・本多光太郎記念講演会（本多記念会と共催）
1回：2020年10月、長崎大学(長崎市)、講演1件、参加予定40名
- ・材料科学談話会
1回：2020年3月～2021年2月、場所未定、講演件数未定、参加数未定
- ・材料プロセス談話会
1回：2020年3月～2021年2月、場所未定、講演件数未定、参加数未定
- ・学術講演会
1回：2020年6月、九州大学(福岡市)、発表件数100件、参加予定200名

4. 学術に関する調査及び研究(定款第5条第3号)

(1) 研究会(継続9テーマ、新規2テーマ)

①継続テーマ

研究会番号	研究会名
70	プラスチックに基づく変形現象研究会
72	水素化物に関わる次世代学術・応用展開研究会
75	キンク研究会
77	高度超塑性形成研究会
78	触媒材料の金属学研究会
79	金属・無機・有機材料の結晶方位解析と応用技術研究会
80	高エネルギー環境用材料評価研究会
81	材料機能特性のアーキテクチャー研究会
82	微小領域の力学特性評価とマルチスケールモデリング研究会

②新規テーマ

研究会番号	研究会名
83	高温材料の変形と破壊研究会
84	ソフト磁性研究会

(2) 若手研究グループ(継続2グループ)

①継続グループ

- 1) 次世代高性能磁性材料研究グループ
- 2) 生体用金属・セラミックス材料の生体外評価に関する標準化検討グループ

②新規グループ

なし

(3) 研究助成(金属学会フロンティア研究助成)

- ・採択案件を決定し、助成金を交付する。

(4) 調査研究委員会

- ①調査研究委員会：2回（2020年3月、2020年9月）
 - ・調査・研究に関する業務執行の協議を行う。
- ②調査研究推進委員会：2回（2020年7月、2021年1月）
 - ・調査・研究に関する事業の活性化を推進する。
- ③第1～9分科の活動
 - ・昨年度に改編した分科での活動を推進する。

(5) 他の委員会活動

①企画委員会

- ・学会の魅力向上及び会員増加に向けた運営課題の検討と施策を企画・推進する。

②セルフガバナンス委員会

- ・コンプライアンス遵守を推進する。

③長期展望委員会

- ・事務局に係る検討を行なう。

④戦略推進委員会

- ・関連学協会との連携を推進する。

⑤科研費委員会

- ・科学研究費補助金に関する情報収集を継続する。

⑥人材育成委員会

- ・学校教育の支援や青少年向けイベントの開催を推進する。
- ・若手交流等の人材育成に関する事業を拡充する。

⑦男女共同参画委員会

- ・男女共同参画委員会（日本鉄鋼協会と合同）：2020年3月、2020年9月
- ・男女共同参画ランチョンミーティング：2020年3月
- ・女性会員の集い：2020年9月

⑧国際学術交流委員会

- ・TMS、KIM、IOMMS等の海外学協会・団体との交流事業を推進する。
- ・講演大会における国際セッションの開催を検討する。

(6) 支部研究会等活動

①東北支部

- ・支部研究発表大会
1回：2020年11月、開催場所未定、参加予定100名

②関東支部

- ・ヤングメタラジスト研究交流会
1回：2020年10月、東京工業大学、参加予定50名

③東海支部

- ・若手材料研究会
1回：2020年11月、開催場所未定、参加予定80名
- ・若手冶金エンジニア研究会(技術交流フォーラムと共同開催)
1回：2020年11月、開催場所未定、参加予定80名
- ・ものづくり教育
1回：2020年3月、開催場所未定、テーマ未定、参加予定20名

④北陸信越支部

- ・材料研究会
2回：2020年10月、富山大学、参加予定50名
2021年2月、富山大学、参加予定50名
- ・材料フォーラム
2回：2020年3月、めがね会館（鯖江市）、参加予定50名
2021年2月、めがね会館（鯖江市）、参加予定50名
- ・ものづくり教育
1回：2020年9月、長岡技術科学大学（長岡市）、たたら製鉄実演、参加予定90名

⑤関西支部

- ・材料物性工学談話会
3回：2020年5月～2021年2月、開催場所未定、参加予定25～80名
- ・鉄鋼プロセス研究会

- 3回：2020年5月～2021年2月、開催場所未定、参加予定25～80名
- ・マテリアルデザイン研究会
 - 3回：2020年5月～2021年2月、開催場所未定、参加予定25～80名
- ・関西分析研究会
 - 3回：2020年5月～2021年2月、開催場所未定、参加予定25～80名
- ・材料化学研究会
 - 3回：2020年5月～2021年2月、開催場所未定、参加予定25～80名
- ⑥中国四国支部
 - ・金属物性研究会
 - 3回：2020年4月～2021年2月、開催場所未定、各回参加予定30名
 - ・材質制御研究会
 - 3回：2020年4月～2021年2月、開催場所未定、各回参加予定30名
 - ・若手フォーラム
 - 4回：2020年4月～2021年2月 開催場所未定 参加予定40～100名
- ⑦九州支部
 - ・久留米工業高等専門学校中学生向け公開講座の後援 2020年8月

(7) 支部見学会活動

- ①関東支部
 - ・支部見学会
 - 1回：2020年10月、場所未定、参加予定20名
- ②関西支部
 - ・支部見学会
 - 1回：2021年1月、日本製鉄(株)、テーマ未定、参加予定30～40名
- ③中国四国支部
 - ・見学会
 - 1回：2020年8月、ゼノー・テック(株)(岡山市)、参加予定30名

(8) 国内学協会連携活動

- ①日本学術会議
 - ・理学・工学系学協会連絡協議会に参加し、情報交換を行う。
 - ・材料連合協議会に参加し、材料系学協会との情報交換を行なう。
- ②日本工学会
 - ・事務研究委員会に参加し、情報を収集する：8回。
- ③材料戦略委員会
 - ・関連学協会と共同で材料分野の理解活動を推進する。
- ④技術者教育制度認定活動
 - ・JABEE(日本技術者教育認定機構)活動に協力する。
- ⑤全国大学材料関係教室協議会
 - ・オブザーバー参加する：2回。
- ⑥男女共同参画活動
 - ・男女共同参画学協会連絡会活動へ参加する。
 - ・(一社)日本鉄鋼協会との合同男女共同参画委員会活動を推進する。

(9) 国際学協会連携活動

- ①IOMMS(International Organization of Materials, Metals & Minerals Societies)
 - ・第18回World Materials Day(2020年11月4日)に合わせて、World Materials Day Award Winnerを授賞する。
- ②大韓金属・材料学会(KIM:The Korean Institute of Metals and Materials)

- ・代表を年次総会へ相互に派遣、招待する。
 - ・第21回KIM-JIMシンポジウムをKIM主催で2020年10月のKIM秋期講演大会において開催する。
- ③TMS(The Minerals、Metals and Materials Society)
- ・JIM/TMS Young Leader International Scholar Program交流を推進する。
2020年3月にTMSから本会2020年春期講演大会に1名を受け入れる。
2021年3月に本会からTMS2021年次大会へ派遣する者1名を決定する。

5. 学術に関する表彰及び奨励(定款第5条第4号)

(1) 名誉員および各種賞授賞者ならびにフェロー等の選考委員会

選考委員会	開催数	備考
名誉員検討委員会	1	
各種賞検討委員会	4	
学会賞選考委員会	1	第65回授賞選考
技術賞選考委員会	1	第61回授賞選考
技術開発賞選考委員会	1	第43回授賞選考
金属組織写真賞選考委員会	1	第70回授賞選考
研究技能功労賞選考委員会	1	第51回授賞選考
功績賞選考委員会	1	第78回授賞選考
奨励賞選考委員会	1	第30回授賞選考
谷川・ハリス賞選考委員会	1	第59回授賞選考
増分量賞選考委員会	1	第26回授賞選考
まてりあ賞選考委員会	1	第10回授賞選考
村上記念賞選考委員会	1	第17回授賞選考
村上奨励賞選考委員会	1	第17回授賞選考
論文賞選考委員会	1	第68回授賞選考
新進論文賞選考委員会	1	第1回授賞選考
優秀ポスター賞選考委員会	2	第34、35回授賞選考
奨学賞選考委員会	1	第28回授賞選考
フェロー選考委員会	1	第4回フェロー選考
他機関の各種学術賞、奨励金等推薦		

(2) 名誉員推戴式

- ①名誉員推戴式 2020年3月17日 東京工業大学大岡山キャンパス(目黒区)

(3) 各賞贈呈

- ①第65回学会賞 2020年3月17日 東京工業大学大岡山キャンパス(目黒区)
- ②第61回技術賞 2020年3月17日 東京工業大学大岡山キャンパス(目黒区)
- ③第43回技術開発賞 2020年9月16日 富山大学五福キャンパス(富山市)
- ④第70回金属組織写真賞 2020年3月17日 東京工業大学大岡山キャンパス(目黒区)
第1部門(光学顕微鏡部門)、第2部門(走査電子顕微鏡部門)、第3部門(透過電子顕微鏡部門)、第4部門(顕微鏡関連部門)
- ⑤第51回研究技術功労賞 2020年3月17日 東京工業大学大岡山キャンパス(目黒区)
- ⑥第78回功績賞 2020年3月17日 東京工業大学大岡山キャンパス(目黒区)
学術部門、技術部門
- ⑦第30回奨励賞 2020年9月16日 富山大学五福キャンパス(富山市)
学術部門、技術部門

- ⑧第59回谷川・ハリス賞 2020年3月17日 東京工業大学大岡山キャンパス(目黒区)
- ⑨第26回増本量賞 2020年3月17日 東京工業大学大岡山キャンパス(目黒区)
- ⑩第10回まてりあ賞 2020年9月16日 富山大学五福キャンパス(富山市)
まてりあ論文賞、まてりあ啓発・教育賞
- ⑪第17回村上記念賞 2020年9月16日 富山大学五福キャンパス(富山市)
- ⑫第17回村上奨励賞 2020年9月16日 富山大学五福キャンパス(富山市)
- ⑬第68回論文賞 2020年9月16日 富山大学五福キャンパス(富山市)
物性部門、組織部門、力学特性部門、材料化学部門、材料プロセッシング部門、工業材料部門
- ⑭第32回若手講演論文賞 2020年3月17日 東京工業大学大岡山キャンパス(目黒区)
- ⑮第34回優秀ポスター賞 2020年3月17日 東京工業大学大岡山キャンパス(目黒区)
(各所属機関・学科において贈賞)
- ⑯第35回優秀ポスター賞 2019年9月20日 富山大学五福キャンパス(富山市)
(各所属機関・学科において贈賞)
- ⑰第28回日本金属学会・日本鉄鋼協会奨学賞 2020年3月各大学卒業時実施。
(各学科等において贈賞)
- ⑱第18回World Materials Day Award 2020年11月4日 各所属機関において贈賞
IOMMM最優秀賞、日本金属学会部門賞(3部門)

(4) フェロー認定式

- ①フェロー認定式 2020年3月17日 東京工業大学大岡山キャンパス(目黒区)

(5) 支部表彰事業

- ①北海道支部
 - ・サマーセッション奨励賞 2020年7月 室蘭工業大学(室蘭市)、受賞者3名
 - ・冬季講演大会奨励賞 2021年1月 北海道大学(札幌市)、受賞者3名
- ②東北支部
 - ・学生ポスター賞(支部研究発表大会) 2020年11月 場所未定
- ③関東支部
 - ・ヤングメタラジストポスター賞 2020年11月 東京工業大学 受賞者3名
- ④東海支部
 - ・支部表彰(若手研究者による材料フォーラム) 2020年11月 場所未定 受賞者10名
- ⑤北陸信越支部
 - ・支部功績賞 2020年12月5日 富山大学(富山市) 受賞者1名
 - ・優秀学生表彰 2020年12月5日 富山大学(富山市) 受賞者5名
- ⑥中国四国支部
 - ・支部長賞 2020年12月 場所未定(岡山市) 受賞者1名
 - ・講演大会優秀学生賞 2020年12月 場所未定(岡山市) 受賞者4名
 - ・支部学術功労賞 2020年3月 場所未定(岡山市) 受賞者2名
- ⑦九州支部
 - ・支部長表彰(ポスター優秀発表者) 2020年6月 九州大学(福岡市) 受賞者15名程度
 - ・支部長表彰(優秀学生) 2020年3月 表彰者の在学で授賞 受賞者数未定

6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第5条第5号)

庶務の項に記載

II. 庶務の計画

1. 特記事項

- ①セルフガバナンスに基づき、規程類の見直しを継続する。

②広報活動を推進する。

2. 2020年度事業に関わる諸会議および諸集会

(1) 本会単独事業

法定機関および任意の合議機関の諸会議	開催回数
社員総会（定時1回）	1
理事会	7
会報編集委員会	6
会誌編集委員会	6
欧文誌編集委員会	6
学術図書類刊行委員会	1
講演大会委員会	2
講演大会企画委員会	2
本多記念講演委員会	1
セミナー・シンポジウム委員会	2
企画委員会	6
長期展望委員会	1
セルフガバナンス委員会	1
調査研究委員会	2
調査研究推進委員会	2
戦略推進委員会	1
科研費委員会	1
人材育成委員会	1
男女共同参画委員会	2
国際学術交流委員会	2
名誉員検討委員会	1
各種賞検討委員会	5
学会賞選考委員会	1
功績賞等各賞の選考委員会	18
フェロー選考委員会	1
支部会議	28

諸集会	開催回数
名誉員推戴式	1
各賞贈呈式	17
フェロー認定式	1
講演大会	2
シンポジウム	2
セミナー	1
研究会	11
研究グループ	2
企業説明会	1
支部講演会・講習会等	80
支部研究会等	35
支部見学会	3

(2) 他学協会等連携事業

諸 会 議	開催回数
Materials Transactions共同編集委員会	3
材料戦略委員会	0
材料戦略委員会企画委員会	0
男女共同参画合同委員会	2
奨学賞贈呈式	50
World Materials Day Award Winner授賞式	1
KIM/JIMシンポジウム	0

公益社団法人 日本金属学会
2020年度収支予算書

2020年3月1日から2021年2月28日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	25,142,775	25,137,956	4,819	
特定資産受取利息	25,142,775	25,137,956	4,819	
退職給付引当資産	699,291	698,050	1,241	
減価償却引当資産	1,491	1,113	378	
刊行事業資金	6,391,250	6,391,250	0	
刊行事業拡充賛助寄付資金	25,660	25,660	0	
講演会・講習会事業資金	5,991,625	5,991,625	0	
講演会・講習会事業拡充資金	4,166	4,166	0	
調査・研究事業資金	5,290,464	5,290,464	0	
調査・研究事業拡充資金	6,000	3,000		
国際学術交流資金	1,734,000	1,734,000	0	
国際会議準備資金	700	500		
表彰・奨励事業資金	1,050,000	1,050,000	0	
学会賞資金	235,503	235,503	0	
研究技術功労賞資金	119,000	119,000	0	
奨励賞・奨学賞等資金	842,625	842,625	0	
谷川・ハリス賞資金	255,000	255,000	0	
増本量賞資金	595,000	595,000	0	
村上賞資金	1,901,000	1,901,000	0	
受取入会金	110,000	110,000	0	
受取入会金	110,000	110,000	0	
受取会費	69,590,000	66,900,000	2,690,000	
正員受取会費	34,300,000	35,200,000	-900,000	正員減
学生員受取会費	3,080,000	3,040,000	40,000	
維持員受取会費	31,000,000	27,800,000	3,200,000	維持員増
外国会員受取会費	1,210,000	860,000	350,000	
事業収益	95,204,339	94,640,493	563,847	
刊行事業収益	54,618,739	52,096,293	2,522,447	
会報購読費収益	1,978,785	2,134,490	-155,705	
会誌購読費収益	4,671,193	3,565,200	1,105,993	2019年度見込み
欧文誌購読費収益	10,737,453	10,072,480	664,973	2019年度見込み
会報別刷等収益	2,885,400	2,431,800	453,600	
会誌別刷・審査収益	840,000	840,000	0	
欧文誌別刷・審査収益	24,060,000	23,124,000	936,000	2019年度見込み
刊行事業広告収益	5,544,000	5,544,000	0	
講座・現代の金属学収益	1,787,087	2,111,496	-324,409	
金属化学入門シリーズ収益	2,067,267	2,036,867	30,400	
単行本収益	47,555	235,960	-188,405	
講演会・講習会事業収益	39,376,000	36,605,000	2,771,000	
講演大会参加費収益	26,356,000	17,849,500	8,506,500	概要集ダウンロード化
講演概要集収益	0	8,914,700	-8,914,700	概要集ダウンロード化
講演大会懇親会参加費収益	1,030,000	740,800	289,200	
金属学会シンポジウム参加費収益	900,000	900,000	0	
金属学会シンポジウム予稿集収益	10,000	10,000	0	
セミナー参加費収益	1,530,000	1,530,000	0	
セミナーテキスト収益	30,000	30,000	0	
講演会・講習会事業広告収益	3,930,000	3,870,000	60,000	
講演会・講習会事業収益	3,400,000	0	3,400,000	企業説明会を調査・研究会事業から移管
支部講演会・講習会事業収益	1,630,000	2,200,000	-570,000	2018年度実績
講演会・講習会事業委託収益	560,000	560,000	0	
調査・研究事業収益	0	3,520,000	-3,520,000	
調査・研究事業収益	0	3,520,000	-3,520,000	企業説明会を講演会・講習会事業へ移管
表彰・奨励事業収益	1,209,600	2,419,200	-1,209,600	
審査・投稿料収益	1,209,600	2,419,200	-1,209,600	新技術・新製品投稿料値下げ
受取補助金等	2,600,000	600,000	2,000,000	
受取地方公共団体助成金	2,500,000	500,000	2,000,000	秋期講演大会助成
受取国庫助成金	100,000	100,000	0	雇用開発助成
受取負担金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	440,955	379,375	61,580	
受取利息	560	800	-240	
雑収益	440,325	378,275	62,050	
支部受取利息・雑収益	70	300	-230	
経常収益計	193,088,069	187,767,824	5,320,246	

科 目	当年度	前年度予算額	増 減	備 考
(2) 経常費用				
事業費	181,112,484	174,714,980	6,397,504	
刊行事業費	83,442,511	86,145,076	-2,702,565	
給料手当	25,445,365	25,510,000	-64,635	
退職給付費用	1,316,894	1,460,000	-143,106	
福利厚生費	4,536,817	6,700,000	-2,163,183	前年度見積み過大
会報刊行費	26,681,485	26,678,076	3,409	
会誌刊行費	3,953,141	3,905,524	47,617	
欧文誌刊行費	14,843,809	15,352,576	-508,767	ページ数減
学術図書類刊行費	6,665,000	6,538,900	126,100	
講演会・講習会事業費	53,694,992	54,032,810	-337,818	
給料手当	15,267,219	15,306,000	-38,781	
退職給付費用	790,136	876,000	-85,864	
福利厚生費	2,722,090	4,020,000	-1,297,910	前年度見積み過大
講演大会開催費	24,318,337	23,924,600	393,737	会場費増、企業説明会を調査・研究事業から移管
講演大会懇親会費	2,300,000	1,540,000	760,000	懇親会費増
本多記念講演開催費	230,700	230,700	0	
金属学会シンポジウム開催費	1,394,770	1,394,770	0	
セミナー開催費	1,702,740	1,702,740	0	
国際会議開催費	0	0	0	
支部講演会・講習会開催費	4,969,000	5,038,000	-69,000	
調査・研究事業費	33,353,927	23,057,094	10,296,833	
給料手当	2,544,536	2,551,000	-6,464	
退職給付費用	131,689	146,000	-14,311	
福利厚生費	453,682	670,000	-216,318	
関連団体連携事業費	26,500	51,500	-25,000	
日本工学会費	429,483	285,984	143,499	
材料戦略委員会費	82,500	202,500	-120,000	
科研費委員会費	1,000	1,000	0	
人材育成委員会費	140,000	150,120	-10,120	
男女共同参画委員会費	190,000	190,000	0	
調査研究委員会費	6,405,617	8,069,570	-1,663,953	企業説明会を講演会・講習会事業へ移管
研究会費	2,700,000	4,000,000	-1,300,000	若手研究グループ減
研究助成費	15,395,000	395,000	15,000,000	助成金交付開始
企画委員会費	1,546,625	1,327,250	219,375	
セルフガバナンス委員会費	11,000	83,500	-72,500	
国際学術交流委員会費	1,442,295	2,511,670	-1,069,375	派遣減
支部調査・研究事業費	1,854,000	2,422,000	-568,000	2018年度実績
表彰・奨励事業費	10,621,054	11,480,000	-858,946	
給料手当	2,544,536	2,551,000	-6,464	
退職給付費用	131,689	146,000	-14,311	
福利厚生費	453,682	670,000	-216,318	
名誉員費	232,000	232,000	0	
各種賞検討委員会費	1,997,817	1,950,200	47,617	
学会賞費	940,110	940,110	0	
学術貢献賞費	1,000	14,500	-13,500	
学術功労賞	0	14,500	-14,500	
技術賞費	103,120	80,090	23,030	
技術開発賞費	696,200	1,258,400	-562,200	授賞数減
金属組織写真賞費	234,200	234,200	0	
研究技術功労賞費	527,500	527,500	0	
功績賞費	224,500	181,800	42,700	
功労賞費	0	13,050	-13,050	
奨励賞・奨学賞等費	409,700	272,950	136,750	
谷川・ハリス賞費	33,350	54,700	-21,350	
増本量賞費	212,350	412,700	-200,350	
まてりあ賞	4,700	4,700	0	
村上賞費	1,389,750	1,389,750	0	
論文賞費	203,100	203,100	0	
フェロー費	68,750	43,750	25,000	
支部表彰・奨励事業費	213,000	285,000	-72,000	
管理費	18,807,715	18,049,400	758,315	
給料手当	5,089,073	5,102,000	-12,927	
退職給付費用	263,379	292,000	-28,621	
福利厚生費	907,363	1,340,000	-432,637	
会議費	868,200	830,000	38,200	
旅費交通費	2,750,000	2,750,000	0	
通信運搬費	1,311,276	880,000	431,276	
減価償却費	189,249	300,000	-110,751	

消耗什器備品費	45,000	45,000	0
消耗品費	457,547	430,000	27,547
修繕費	10,000	10,000	0
印刷製本費	528,942	240,000	288,942
光熱水料費	41,480	44,000	-2,520
賃借料	528,000	518,400	9,600
保険料	13,014	13,000	14
諸謝金	18,000	20,000	-2,000
租税公課	3,094,900	2,780,000	314,900
送金手数料	113,895	113,000	895
支払負担金	122,984	80,000	42,984
システム管理費	439,994	242,000	197,994
委託費	1,566,731	1,550,000	16,731
雑費	448,688	470,000	-21,312
経常費用計	199,920,199	192,764,380	7,155,819
評価損益等調整前経常増減額	-6,832,130	-4,996,556	-1,835,573
評価損益等	0	0	0
当期経常増減額	-6,832,130	-4,996,556	-1,835,573

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-6,832,130	-3,831,705	-3,000,424
一般正味財産期首残高	1,042,052,860	1,002,799,999	39,252,861
一般正味財産期末残高	1,035,220,730	998,968,294	36,252,437
II. 指定正味財産増減の部			
特定資産受取利息	1,901,000	1,901,000	0
未経過償還差額金の償却額	30,380	30,380	0
刊行事業拡充賛助寄付金	50,000	100,000	-50,000
一般正味財産への振替額	1,901,000	1,901,000	0
当期指定正味財産増減額	81,380	130,380	-49,000
指定正味財産期首残高	446,943,546	446,332,786	610,760
指定正味財産期末残高	447,024,926	446,463,166	561,760
III. 正味財産期末残高	1,482,245,656	1,445,431,460	36,814,197

(注)1. 小科目の対前年度予算額比30%超かつ50万円超の増減の理由および補足説明を備考欄に記載した。

2. 人件費の配賦率は、刊行事業50%、講演会・講習会事業30%、調査・研究事業5%、表彰・奨励事業5%、法人会計10%としている。